

令和4年度

病虫害発生予察情報 第11号

6月月報

北海道病虫害防除所 令和4年(2022年)7月15日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

－上旬はかなりの低温、オホーツク海側では記録的寡照も。下旬は記録的多雨。－

オホーツク海高気圧から流れ込む冷たく湿った空気の影響や、前線を伴った低気圧や気圧の谷の影響を受けやすかったため、月降水量はかなり多かった。また、オホーツク海側の月間日照時間の平年比はかなり少なく、1946年の統計開始以降、6月として少ない方から第3位となった。

北海道地方：月平均気温は平年並、月降水量はかなり多く、月間日照時間は少なかった。

日本海側：月平均気温は平年並、月降水量はかなり多く、月間日照時間は平年並だった。

オホーツク海側：月平均気温は低く、月降水量はかなり多く、月間日照時間はかなり少なかった。

太平洋側：月平均気温は高く、月降水量はかなり多く、月間日照時間は平年並だった。

上旬：オホーツク海高気圧から流れ込む冷たく湿った空気の影響を受けやすかったため、オホーツク海側と太平洋側東部では曇りや雨の日が多かった。特に、オホーツク海側の日照時間はかなり少なく、平年比は1961年の統計開始以降、6月上旬として少ない方から第1位の記録となった。一方、日本海側と太平洋側西部では晴れた日が多かった。気温はかなり低かった。

中旬：天気は数日の周期で変わり、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷、上空に寒気が流入した影響で大気の状態が不安定となり雨が降った日もあった。

下旬：低気圧や気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多く、降水量はかなり多かった。北海道地方と日本海側の降水量の平年比は、1946年の統計開始以降、6月下旬として多い方から第1位の記録となった。特に24日および28日から29日にかけては、前線を伴った低気圧の影響で広い範囲で大雨となり、29日に今金で日降水量132.5mmを観測するなど多くの地点で6月としての日降水量の多い方からの極値を更新した。また、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため気温は高く、特に太平洋側の平均気温の平年差は、1946年の統計開始以降、6月下旬として高い方から第2位の記録となった。

気候表(気温は平年差(°C)、降水量・日照時間は比(%))を示す)

	気温偏差°C	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22地点平均	0.0	並	179	か多	89	少
日本海側10地点平均	-0.1	並	178	か多	96	並
オホーツク海側4地点平均	-1.1	低	175	か多	58	か少
太平洋側8地点平均	+0.8	高	181	か多	97	並

注)階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1991～2020の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めています。

なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

II. 病害虫発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0のみの場合、調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

A. 水稻

1. いもち病（葉いもち） 発生期（取り置き苗） 並

予察田の「きらら397」における取り置き苗（接種）の初発期は、岩見沢市及び比布町では平年並、北斗市では平年より遅かった。「きらら397」の本田での初発は、北斗市では平年より早く、比布町では平年よりやや早かった。岩見沢市では初発を認めていない。

予察田におけるいもち病の発生状況

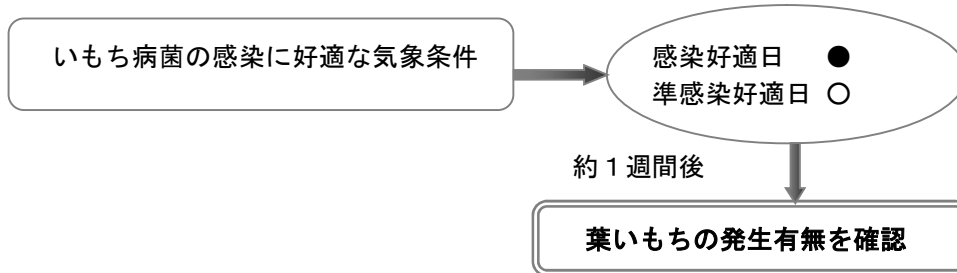
地点	品種名	取り置き苗初発期		本田初発期		平年数
		本年	平年	本年	平年	
岩見沢市	きらら397	6月27日	6月28日	未発生	7月22日	10
	ななつぼし	6月27日	6月28日	未発生	7月20日	10
比布町	きらら397	6月25日	6月23日	7月10日	7月15日	10
	ななつぼし	6月25日	6月26日	7月5日	7月16日	6
北斗市	きらら397	6月27日	6月20日	7月7日	7月17日	8

注) 各予察田の窒素施用量は慣行栽培の5割増

葉いもち発生予測システム「BLASTAM」(プラスタム)の利用方法

BLASTAMは、アメダスの気象データ（気温・降雨・風速・日照）を利用して、いもち病の感染が起こりやすい日（感染好適日・準感染好適日）を推定するものです。

感染のおよそ1週間後頃から、葉いもち病斑が見えるようになります。好適日から約1週間後に、水田内での葉いもちの観察を行きましょう。



BLASTAM予測結果は防除所のホームページで確認できます！！

2. ヒメトビウンカ（第1回） 発生量 やや多

予察田の畦畔における成虫すくい取り数は、比布町で平年より多く、北斗市で平年よりやや多く、長沼町では捕獲が認められなかった。

ヒメトビウンカ成虫の予察田における畦畔すくい取り数

月・半旬	畦畔すくい取り数 (20回振り×5日分換算値)					
	長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	2.9	115.0	25.8	2.5	2.5
2半旬	0	1.3	97.5	23.5	0	1.3
3半旬	0	1.9	0	8.5	10.0	0.3
4半旬	0	0.5	0	2.8	0	0
5半旬	0	0.4	0	0.6	0	0.3
6半旬	0	0.1	0	1.5	0	0
平年数	10		10		10	

3. イネドロオウムシ 発生期 並 発生量 並

予察田における産卵初発期は、長沼町で平年よりやや早く、北斗市では平年よりやや遅かった。比布町では産卵が認められていない。幼虫初発期は長沼町で平年並、北斗市では平年よりやや遅かった。

卵塊数および幼虫の発生量は長沼町で平年よりやや多く、北斗市では平年より少なかった。

巡回調査では、空知及び檜山地方で卵塊が認められたが、要防除水準（2卵塊/株）を超える地点は認められなかった。

予察田におけるイネドロオウムシの初発期

	長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
産卵	6.I	6.II	-	6.III	6.III	6.II
幼虫	6.IV	6.IV	-	6.V	6.V	6.IV
平年数	10		10		10	

予察田におけるイネドロオウムシの発生状況

月・半旬	卵塊数(25株あたり)						幼虫数(25株あたり)					
	長沼町		比布町		北斗市		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	2	2.6	0	2.3	0	0.8	0	0	0	0	0	0
2半旬	2	7.4	0	8.8	0	1.9	0	2.6	0	1.6	0	0
3半旬	11	10.2	0	13.2	1	3.9	0	15.9	0	11.4	0	1.9
4半旬	24	12.0	0	10.8	1.5	6.2	2	28.6	0	55.4	0	11.7
5半旬	31	15.4	0	7.5	1	6.1	61	47.8	0	82.8	2	20.4
6半旬	41	15.2	0	3.9	0	4.2	115	62.7	0	87.7	1	57.0
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるイネドロオウムシの卵塊及び幼虫数(25株あたり)

普及センター	地点数	卵塊				幼虫				
		6月3半旬		6月6半旬		6月6半旬		6月6半旬		
		本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	
空知	本所	7	0	1.4	0.4	1.0	21.3	12.7		
	南東部	2	0	0	0	0	0	0		
	南西部	3	0	0	0	0	0	0		
	中空知	4	0	0	0	0	0.3	0.8		
	北空知	7	1.3	1.4	0.4	0.3	4.3	1.0		
石狩	本所	3	0	0	0	0.3	0	0		
	北部	7	0	0	0	0	0	0.1		
後志	本所	4	0	0	0	0	0	0		
胆振	東胆振	4	0	0	0	0	0	0		
日高	西部	3	0	0	0	0	0	0		
	本所	1	0	0	0	0	1.0	0.3		
渡島	本所	2	0	0	2.5	0	1.5	0		
	北部	2	0	0	0	0	0	0		
上川	本所	7	0	0	0	0	0	0		
	富良野	2	0	0	0	0	0	0		
	大雪	4	0	0	0	0	0	0		
	士別	3	0	0	0	0	0	0		
	名寄	3	0	0	0	0	0	0		
留萌	本所	4	0	0	0	0	0	0		
	南留萌	2	0	0	0	0	0	0		

4. アカヒゲホソミドリカスミカメ(第1回)

発生期 早 発生量 やや多

<7月15日付け注意報第4号>

予察田の畦畔におけるすくい取りによる成虫初発期は、長沼町及び比布町で平年より早く、北斗市では平年よりやや早かった。

予察灯による成虫の誘殺数は、長沼町で平年よりやや多く、比布町及び北斗市では平年並であった。予察田の畦畔における成虫すくい取り数は、長沼町及び比布町で平年より多く、北斗市では平年よりやや多かった。

一般田における6月6半旬の巡回調査では、畦畔すくい取りにおいて全74地点中、空知、石狩、日高、上川、留萌地方の計20地点で捕獲が認められており、一部地域では多捕獲も認められている。

アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫の予察灯誘殺数および予察田における畦畔すくい取り数

月・半旬	予察灯誘殺数						畦畔すくい取り数 (20回振り×5日分換算値)					
	長沼町		比布町		北斗市		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.6	0	2.4	0	0.9	2.5	4.3	0	0	0	0.5
2半旬	0	2.8	0	2.2	0	0.5	23.8	4.8	2.5	2.5	2.5	1.3
3半旬	0	10.3	0	2.9	0	2.4	47.5	18.0	0	3.0	0	0.5
4半旬	1	6.1	5	1.3	2	1.6	42.5	5.0	25.0	2.3	2.5	1.3
5半旬	4	5.3	3	0.9	2	0.9	5.0	1.7	10.0	0.6	0	0.8
6半旬	41	5.4	4	2.3	9	4.0	30.0	2.8	0	0.5	5.0	1.3
初発期	6月17日	6月9日	6月19日	6月13日	6月18日	6月14日	5月25日	6月8日	6月6日	6月17日	6月7日	6月11日
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるアカヒゲホソミドリカスミカメ成幼虫の畦畔すくい取り数(20回振り)

普及センター	地点	数	6月6半旬		普及センター	地点	数	6月6半旬		
			本年	前年				本年	前年	
空知	本所	7	0.7	0	日高	西部	3	1.0	0	
	南東部	2	2.0	1.5		渡島	本所	1	0	0.3
	南西部	3	0.3	0		檜山	本所	2	0	0
	中空知	4	0.3	0.8		北部	2	0	0	
	北空知	7	0.4	0		上川	本所	7	0.4	0.1
石狩	本所	3	1.7	0	富良野		2	1.0	0	
	北部	7	0	0	大雪		4	3.8	0.5	
後志	本所	4	0	0	士別		3	4.0	15.0	
胆振	東胆振	4	0	0	名寄		3	0	2.3	
		留萌	本所	4	1.6	0	南留萌	2	0	0

5. フタオビコヤガ(第1回) 発生量 少

予察田において、第1回幼虫の発生量及び幼虫被害は比布町で平年より少なかった。長沼町及び北斗市では幼虫の発生が認められなかった。

予察田におけるフタオビコヤガの発生状況

月・半旬	幼虫数(25株あたり)						被害葉率(%)					
	長沼町		比布町		北斗市		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	0.1	0	0.2	0	0	0	0.2	0	0.2	0	0
3半旬	0	0.7	0	0.3	0	0	0	0.3	0	0.4	0	0
4半旬	0	0.6	0	0.5	0	0	0	1.2	0	0.9	0	0
5半旬	0	0.4	0	0.1	0	0	0	1.1	0	1.0	0	0
6半旬	0	0.6	0	0.2	0	0	0	2.2	0.6	1.0	0	0.0
平年数	10		10		10		10		10		10	

B. 秋まき小麦

1. 赤さび病 発生量 少

予察ほの「きたほなみ」での発生は、芽室町及び訓子府町では平年より少なかった。長沼町では6月4半旬まで平年並に推移したが、6月6半旬では平年より少なかった。

一般ほにおける巡回調査の報告によると、6月3半旬時点では空知、後志、上川、オホーツク地方で発生が認められている。

予察ほにおける赤さび病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	4.80	2.30	10.89	9.67	6.44	23.34	10
		最上位葉	0.65	0.30	4.82	3.88	6.44	14.73	
		最上-1葉	4.16	1.76	12.54	10.55	-	28.06	
芽室町	きたほなみ	全葉	0.01	0.40	0.42	1.27	0.90	6.44	10
		最上位葉	0	0.00	0.00	0.32	0.16	4.72	
		最上-1葉	0.00	0.16	0.02	0.94	0.58	6.81	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0	0.05	0.01	0.34	0.68	3.21	10
		最上位葉	0	0.00	0	0.05	0.06	1.11	
		最上-1葉	0	0.02	0	0.24	0.24	2.69	

注) -:調査不能

一般ほにおける赤さび病の巡回調査結果

普及センター		地点数	病葉率(%)		普及センター		地点数	病葉率(%)	
			6月3半旬					6月3半旬	
			本年	前年				本年	前年
空知	本所	6	-	-	留萌	本所	4	0	-
	南東部	2	-	-	網走	本所	8	0.5	0
	南西部	4	-	-		清里	6	0.7	0
	北空知	2	3.0	0.7		網走	2	0	0
石狩	本所	3	0	0	美幌	5	0	0	
	北部	6	0	0.8	遠軽	3	0	1.3	
後志	本所	3	0.3	0	紋別	2	0	0	
胆振	本所	3	0	-	十勝	本所	7	0	-
	東胆振	3	-	-		東部	6	-	-
檜山	本所	2	-	0		東北部	5	0	-
	北部	2	-	0		北部	3	-	-
上川	本所	4	-	-		西部	3	-	-
	富良野	3	-	-	南部	3	0	-	
	大雪	3	2.7	0					
	士別	3	-	3.7					
	名寄	3	0	-					

注1) -:調査対象外(5月6半旬で調査終了)につき未調査

注2) 病葉率:最上位葉の1枚下の葉の病葉率(25茎調査)

2. うどんこ病 発生量 少

予察ほの「きたほなみ」での発生は、長沼町、芽室町及び訓子府町のいずれの地点においても平年より少なかった。

一般ほにおける巡回調査の報告によると、6月3半旬時点では後志及びオホーツク地方で発生が認められている。

予察ほにおけるうどんこ病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	0.09	0.24	0.08	0.29	0.02	0.29	10
		最上位葉	0	0.00	0.02	0.01	0.02	0.08	
		最上-1葉	0.03	0.07	0.09	0.11	-	0.19	
芽室町	きたほなみ	全葉	0.00	0.02	0.00	0.05	0	0.06	10
		最上位葉	0	0.00	0	0.00	0	0.01	
		最上-1葉	0	0.00	0	0.02	0	0.05	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0.01	0.05	0.02	0.19	0	0.42	10
		最上位葉	0	0	0	0.00	0	0.03	
		最上-1葉	0	0.00	0	0.04	0	0.14	

注) - : 調査不能

一般ほにおけるうどんこ病の巡回調査結果

普及センター		地点数	病葉率(%)		普及センター		地点数	病葉率(%)		
			6月3半旬					6月3半旬		
			本年	前年				本年	前年	
空知	本所	6	-	-	留萌	本所	4	0	-	
	南東部	2	-	-		網走	本所	8	0.4	0
	南西部	4	-	-			清里	6	0	11.3
	北空知	2	0	0			網走	2	0	0
石狩	本所	3	0	0	美幌		5	0	0	
	北部	6	0	0	遠軽	3	0	0		
後志	本所	3	0.3	0	紋別	2	0	0		
胆振	本所	3	0	-	十勝	本所	7	0	-	
	東胆振	3	-	-		東部	6	-	-	
檜山	本所	2	-	0		東北部	5	0	-	
	北部	2	-	0		北部	3	-	-	
上川	本所	4	-	-		西部	3	-	-	
	富良野	3	-	-	南部	3	0	-		
	大雪	3	0	0						
	士別	3	-	0						
	名寄	3	0	-						

注1) - : 調査対象外(5月6半旬で調査終了)につき未調査

注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率(25茎調査)

3. アブラムシ類 発生期 遅 発生量 少

予察ほにおけるムギヒゲナガアブラムシの初発期は、訓子府町で平年よりやや遅かった。長沼町では発生が認められなかった。ムギクビレアブラムシの初発期は、長沼町及び訓子府町で平年より遅かった。

ムギヒゲナガアブラムシの発生量は、訓子府町では平年より少なかった。ムギクビレアブラムシの発生量は、長沼町及び訓子府町で平年より少なかった。

予察ほの秋まき小麦におけるアブラムシ類の発生状況

月・半旬	ムギヒゲナガアブラムシ				ムギクビレアブラムシ			
	長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月2半旬	0	1.4	0	0.4	1	0	0	14.6
3半旬	0	0.9	0	6.3	0	0.1	0	9.0
4半旬	0	2.1	0	4.7	0	0.8	0	4.3
5半旬	0	2.2	0	11.7	0	0.5	0	5.3
6半旬	0	3.8	1	12.4	0	3.6	2	11.4
初発期	-	6.IV	7.I	6.VI	6.VI	6.IV	6.VI	6.IV
平年数	10		9		10		9	

注) 25穂あたりの寄生虫数

C. 春まき小麦

1. ムギキモグリバエ 発生量 やや多

予察ほにおける成虫すくい取り数は、比布町で平年より多く、長沼町では平年よりやや多かった。

予察ほの春まき小麦におけるムギキモグリバエのすくい取り数

月・半旬	長沼町		比布町	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	110.0	58.2	450.0	173.6
2半旬	42.0	49.5	410.0	327.8
3半旬	11.5	41.9	195.0	159.8
4半旬	16.0	10.2	155.0	50.2
5半旬	5.0	8.2	25.0	28.1
6半旬	27.0	2.6	170.0	15.2
平年数	10		10	

注) 20回振り×5日分換算値

D. とうもろこし

1. オオタバコガ 発生期 遅 発生量 やや多

フェロモントラップによる雄成虫の初誘殺日は、長沼町で6月19日(平年:6月11日)と平年より遅かった。誘殺数は、北斗市で平年より多く、長沼町では平年よりやや多かった。比布町、芽室町及び訓子府町では誘殺が認められなかった。

オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	0	0	0.2	0	0	0	0	0	0
3半旬	0	0.3	0	0.1	0	0	0	0	0	0
4半旬	1	0.7	0	0.1	0	0	0	0	0	0
5半旬	1	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
6半旬	1	0.1	0	0	2	0.1	0	0	0	0
初発期	6月19日	6月11日	-	-	5月24日	-	-	-	-	-
平年数	10		9		7		7		7	

道南農試でツマジロクサヨトウの飛来が確認されています

本年は道南農試（北斗市）で6月27日にフェロモントラップで初誘殺が確認され、2020年（8月）、2021年（7月）よりもさらに早い飛来となりました。中央農試、上川農試、十勝農試、北見農試、花野菜技術センターにおいてもフェロモントラップ調査をおこなっていますが、7月13日現在誘殺は確認されていません。最新の誘殺状況は北海道病害虫防除所ホームページ「病害虫速報」に随時掲載します。

本種は主にとうもろこしを加害します。道内で初めて飛来が確認された2020年以降、生産者ほ場では大きな被害は確認されていませんが、本年は飛来時期が早いいため注意が必要です。幼虫は新葉抽出部や雌穂に潜入して内部を食害します。作物体内部に潜入すると薬剤の防除効果が得にくくなるため、葉を食害している若齢期に薬剤散布を実施しましょう。

<詳しくは、以下の資料を参照>

・ツマジロクサヨトウ及びとうもろこしでみられる主なチョウ目幼虫の各齢期における主な特徴及び識別法

(https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/attach/pdf/tumajiro-159.pdf)

・ツマジロクサヨトウの登録農薬一覧（令和3年4月1日現在）

(https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/attach/pdf/tumajiro-147.pdf)

・「ツマジロクサヨトウ」防除マニュアル本編（第2版）

(https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/attach/pdf/tumajiro-150.pdf)

・飼料用とうもろこし及び飼料用ソルガムにおけるツマジロクサヨトウ防除対策について

(https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/attach/pdf/tumajiro-161.pdf)

・スイートコーン（未成熟とうもろこし）におけるツマジロクサヨトウ防除対策について

(https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/attach/pdf/tumajiro-156.pdf)

・緑肥用作物におけるツマジロクサヨトウ防除対策について

(https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/attach/pdf/tumajiro-86.pdf)

E. 豆類

1. タネバエ（大豆） 発生量 多

予察ほの大豆における被害個体率は、芽室町及び訓子府町で平年より高く、長沼町では平年よりやや低かった。

予察ほにおけるタネバエの被害状況(%)

	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
被害個体率	24.0	49.2	44.0	4.0	50.0	9.2
健全個体率	75.3	43.1	47.0	90.9	19.3	85.1
他不出芽	0.7	7.7	9.0	5.2	30.7	5.7
平年数	10		9		10	

注) 他不出芽: タネバエ被害以外の不出芽を示す

2. ジャガイモヒゲナガアブラムシ(大豆) 発生期 並 発生量 やや少

黄色水盤におけるジャガイモヒゲナガアブラムシの初発期は、長沼町で平年よりやや早く、訓子府町では平年より遅かった。芽室町では誘殺を認めていない。

黄色水盤による捕獲数は、長沼町及び訓子府町で平年並であった。

予察ほの大豆における寄生虫数は、芽室町で平年並、長沼町及び訓子府町では平年よりやや少なかった。

黄色水盤によるジャガイモヒゲナガアブラムシの誘殺数と初発期

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	2	1.2	0	0.3	0	0.8
2半旬	1	5.8	0	0.9	0	1.5
3半旬	2	2.6	0	0.1	0	0.4
4半旬	2	2.5	0	0	0	0.0
5半旬	1	2.3	0	0.2	1	0.1
6半旬	4	0.8	0	0	1.7	0.6
初発期	5.VI	6.I	-	6.III	6.V	6.II
平年数	10		10		10	

予察ほの大豆におけるジャガイモヒゲナガアブラムシの発生状況

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	-	1.5	-	0	-	0.2
2半旬	-	3.0	-	0.4	-	3.3
3半旬	3.1	6.3	0	0	0	5.4
4半旬	2.5	7.5	2	2.2	1	3.0
5半旬	3.5	6.6	1	1.3	0	3.2
6半旬	1.3	3.0	1	1.7	1	2.3
平年数	10		10		9	

注1)25株2小葉(計50小葉)あたりの寄生虫数

注2)-:調査不能

3. マメアブラムシ(小豆) 発生期 やや早 発生量 並

予察ほにおける初発期は、長沼町及び訓子府町で平年より早く、芽室町では平年並であった。

寄生株率は芽室町で平年よりやや高く、訓子府町で平年並、長沼町では平年よりやや低かった。

予察ほの小豆におけるマメアブラムシ寄生株率(%)

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月2半旬	-	0	-	0.2	-	0
3半旬	3	2.0	0	0.3	4	0
4半旬	9	11.3	0	2.3	0	0.4
5半旬	4	19.6	8	5.9	0	0.9
6半旬	6	15.1	32	15.7	0	4.4
初発期	6.III	6.V	6.V	6.V	6.III	7.I
平年数	9		10		9	

注)-:調査不能

F. ばれいしょ

1. 疫病 発生期 ー

予察ほの「とうや」における初発期は、訓子府町では平年より早かった。長沼町、北斗市及び芽室町では発生を認めていない。

一般ほにおける巡回調査の報告では、桧山及び十勝地方で発生が認められている。

予察ほにおける疫病の初発期

地点	品種名	本年	平年	平年数
長沼町	とうや	未発生	7月15日	6
	スノーマーチ	未発生	7月21日	8
北斗市	とうや	未発生	7月6日	9
芽室町	とうや	未発生	7月11日	9
	スノーマーチ	未発生	7月14日	9
訓子府町	とうや	7月7日	7月14日	7
	スノーマーチ	未発生	7月15日	7

一般ほにおける疫病の巡回調査結果

普及センター		調査地点数	発病株率(%)		普及センター		調査地点数	発病株率(%)	
			6月6半旬					6月6半旬	
			本年	前年				本年	前年
空知	南東部	1	0	0	網走	本所	8	0	0
後志	本所	4	0	0		清里	6	0	0
胆振	本所	2	0	0		網走	2	0	0
渡島	本所	1	0	0		美幌	2	0	0
檜山	本所	2	6.5	0	十勝	本所	5	0	0
	北部	2	0	0		東部	6	0	0
上川	富良野	3	0	0		東北部	2	3.5	0
	大雪	3	0	0		北部	3	0	0
	士別	1	0	0		西部	2	0	0
	名寄	1	0	0		南部	3	0	0
					釧路	本所	2	0	0
					根室	北根室	1	0	0

2. アブラムシ類 発生量 並

予察ほにおけるジャガイモヒゲナガアブラムシの発生量は、長沼町で平年よりやや多く、芽室町及び訓子府町では平年並であった。モモアカアブラムシは、長沼町で発生が認められた。ワタアブラムシは、いずれの地点においても発生が認められていない。

6月6半旬の巡回調査では、全62地点中7地点で寄生が認められた。

予察ほにおけるアブラムシ類の発生状況

月・半旬	ジャガイモヒゲナガアブラムシ						モモアカアブラムシ					
	長沼町		芽室町		訓子府町		長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.5	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0
2半旬	0.5	0.9	0	0.1	0	0.5	0	0.1	0	0	0	0
3半旬	9	0.9	0	0.2	0.5	0.3	0	0	0	0	0	0
4半旬	3.5	1.3	0	0	0	0.7	0	0	0	0	0	0
5半旬	0	1.5	0.5	0.3	1	1.5	3	0.0	0	0	0	0
6半旬	2	1.6	2	0.8	1	2.9	1.5	0.1	0	0	0	0.3
平年数	10		10		10		10		10		10	

月・半旬	ワタアブラムシ					
	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	0	0	0	0	0
3半旬	0	0.2	0	0	0	0
4半旬	0	0.3	0	0	0	0.5
5半旬	0	1.1	0	0	0	0.1
6半旬	0	2.5	0	0	0	2.8
平年数	10		10		10	

注) 20株各2複葉、合計40複葉を調査。虫数は10株20複葉あたり換算虫数。品種は「スノーマーチ」

巡回調査によるばれいしよのアブラムシ類寄生虫数

普及センター	地点数	6月3半旬		6月6半旬	
		本年	前年	本年	前年
空知	南東部	1	0	0	0
後志	本所	4	0	0	0
胆振	本所	2	0	0	6.5
渡島	本所	1	0	1.5	0
檜山	本所	2	0	0	0
	北部	2	0	4.5	1.0
上川	富良野	3	0	0	0
	大雪	3	0	0.3	0.3
	士別	1	0	0	0
	名寄	1	0	0	1.0
網走	本所	8	0	0	1.6
	清里	6	0	0	0
	網走	2	0	0	1.5
	美幌	2	0	7.5	0
十勝	本所	5	0	0	0
	東部	6	0.2	0	0
	東北部	2	0	0	0
	北部	3	0	0	0.3
	西部	2	0	0	0.5
	南部	3	33.3	0	0
釧路	本所	2	0	0	0
根室	北根室	1	0	0	1.0

注) 10株20複葉調査

G. てんさい

1. 褐斑病 発生期 早

<6月29日付け注意報第3号>

予察ほの抵抗性“やや強”品種「ライエン」における初発期は、長沼町、芽室町及び訓子府町のいずれの地点とも平年より早かった。

予察ほにおける褐斑病の発生状況

地点	品種名 (褐斑病抵抗性)	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	あまいぶき(弱)	6月28日	7月9日	10
	ライエン(やや強)	6月30日	7月10日	7
芽室町	あまいぶき(弱)	7月1日	7月7日	8
	ライエン(やや強)	6月28日	7月5日	7
	スタウト(強)	6月29日	7月11日	8
訓子府町	ライエン(やや強)	7月6日	7月12日	10

2. ヨトウガ(第1回) 発生期 早 発生量 やや少

予察ほにおける産卵の初発期は、芽室町で平年より早かった。長沼町及び訓子府町では産卵が認められていない。

食害程度は、芽室町で平年よりやや高く、長沼町及び訓子府町では平年並であった。

巡回調査では、要防除水準(被害株率50%)を超える地点は認められていない。

予察ほにおけるヨトウガの卵塊数および食害程度

月・半旬	卵塊数(50株あたり)						食害程度					
	長沼町		芽室町		訓子府町		長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.8	0	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	1.7	0	0.9	0	0	0	0.2	0	0	0	0
3半旬	0	2.9	0	1.6	0	0	0	0.6	1	0	0	0
4半旬	0	2.7	0	1.6	0	0.7	0	2.4	0.5	0.4	0	0
5半旬	0	1.7	0	1.1	0	0.1	5	6.8	3	3.0	0	0.3
6半旬	0	0.8	0	0.3	0	0.3	12	13.7	11.5	6.7	2	1.4
初発期	-	6.III	5.VI	6.III	-	6.V						
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるてんさいのヨトウガ被害株率(%)

普及センター	地点数	6月6半旬		普及センター	地点数	6月6半旬		
		本年	前年			本年	前年	
空知	南東部	1	2.0	網走	本所	9	5.6	
	石狩	2	5.0		清里	6	0	
	後志	3	4.0		網走	2	9.5	
	胆振	本所	4		5.0	美幌	5	2.8
		東胆振	3		4.0	遠軽	3	1.7
	上川	富良野	3		1.3	十勝	本所	7
	大雪	3	1.3	東部	5		0.8	
	士別	1	4.0	東北部	4		20.3	
	名寄	1	1.0	北部	3		0	
		2	10.0	西部	3		2.7	
			9.3	南部	3	15.3		

注)50株調査

3. テンサイトビハムシ **発生量 やや多**

予察ほにおける食害程度は、芽室町及び訓子府町で平年よりやや高く、長沼町では平年並であった。

予察ほにおけるテンサイトビハムシの食害程度

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	25	29.1	16	10.9	26	21.7
2半旬	25	29.6	18	9.7	28	23.7
平年数	10		10		9	

H. たまねぎ

1. 白斑葉枯病 **発生期 並 発生量 やや少**

予察ほにおける初発期は、長沼町では平年よりやや早く、訓子府町では平年よりやや遅かった。6月6半旬における発生量は、長沼町では平年並、訓子府町ではより少なかった。

一般ほにおける巡回調査の報告によると、十勝地方で発生が認められている。

予察ほにおける白斑葉枯病の発生状況

地点	品種名	初発期		発病度						平年数
				6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	北もみじ2000	6月12日	6月16日	0	0	19.0	6.7	25.0	20.4	10
訓子府町	北もみじ2000	6月30日	6月25日	0	0	0	0.4	0.5	2.9	10

一般ほにおける白斑葉枯病の巡回調査結果

普及センター		調査地点数	発病株率(%)		普及センター		調査地点数	発病株率(%)	
			6月6半旬					6月6半旬	
			本年	前年				本年	前年
空知	本所	5	0	0	網走	本所	8	0	0
	南東部	3	0	2.0		清里	2	0	1.3
	南西部	3	0	0		美幌	4	0	0
	中空知	1	0	0		遠軽	1	0	0
石狩	北部	2	0	0	十勝	本所	3	0	0
上川	富良野	4	0	0		東部	2	1.0	3.0
	大雪	1	0	0					
	士別	1	0	0					

2. ネギアザミウマ 発生期 やや早 発生量 多 <6月20日付け注意報第2号>

予察ほにおける成虫の初発期は、訓子府町で平年より早く、長沼町では平年よりやや早かった。幼虫の初発期は、長沼町及び訓子府町で平年よりやや早かった。被害の初発期は、長沼町及び訓子府町で平年より早かった。

寄生成虫数は、長沼町では平年より多く、訓子府町では平年よりやや多かった。寄生幼虫数は、長沼町及び訓子府町で平年よりやや多かった。被害程度は、長沼町及び訓子府町で平年より高かった。

巡回調査では、寄生株率50%以上の地点は全40地点中、空知地方の計3地点であった。

予察ほにおけるネギアザミウマの発生状況

月・半旬	成虫数(25株あたり)				幼虫数(25株あたり)				被害程度			
	長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	10.5	2.5	22	14.5	0	0.1	0	0	4	1.4	23	3.0
2半旬	11.5	5.6	24	19.1	0.5	1.7	0	4.2	12	4.0	27	5.2
3半旬	28	13.0	140	30.9	6	11.2	9	24.2	28	8.1	37	10.2
4半旬	58	14.3	25	43.4	251	45.9	82	160.3	35.5	13.8	52	25.1
5半旬	38	21.7	20	38.0	249	180.4	496	329.5	38	19.2	59	34.9
6半旬	40	40.7	5	51.6	174	238.6	1310	635.0	48	24.3	73	43.6
初発期	5.VI	6.I	5.V	6.I	6.II	6.III	6.III	6.IV	5.VI	6.III	5.V	6.I
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるたまねぎのネギアザミウマ寄生株率(%)

普及センター	地点数	6月6半旬		普及センター	地点数	6月6半旬				
		本年	前年			本年	前年			
空知	本所	5	49.6	2.4	上川	富良野	4	11.0	22.0	
	南東部	3	44.3	6.7		大雪	1	10.0	25.0	
	南西部	3	60.0	37.3		士別	1	0	5.0	
	中空知	1	0	4.0		網走	本所	8	3.8	5.9
石狩	北部	2	0	18.0	清里		2	22.0	96.0	
	十勝	本所	3	43.3	33.3		美幌	4	7.3	2.0
		東部	2	34.0	14.0		遠軽	1	26.0	13.0

注)25株調査

I. あぶらな科野菜

1. モンシロチョウ 発生量 並

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、北斗市で平年並であった。長沼町では平年より少なく推移したが6半旬に急増した。

予察ほのキャベツにおけるモンシロチョウ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	2	13.8	3.2	4.6
2半旬	3	16.5	4.8	5.2
3半旬	1	8.6	11.6	5.9
4半旬	2	1.6	2	5.0
5半旬	1	4.5	6	12.2
6半旬	41	16.6	0	16.1
平年数	10		10	

注) 10株あたりの寄生虫数。

2. コナガ 発生量 やや多

＜5月9日付け注意報第1号＞

フェロモントラップによる誘殺数は、長沼町、比布町、北斗市、芽室町、訓子府町いずれの地点においても平年並であった。

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、長沼町及び北斗市で平年より多かった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	8	16.4	3	28.7	34	28.4	6	8.6	5	6.3
2半旬	9	11.6	7	32.6	25	21.1	2	4.7	1	5.2
3半旬	14	27.5	24	15.4	41	21.3	2	4.8	9	5.2
4半旬	40	17.8	45	13.1	18	24.4	1	3.0	5	4.3
5半旬	28	25.1	8.3	15.6	16	19.1	7	2.0	2	4.2
6半旬	33	34.9	13.8	16.0	37	28.3	1	2.8	1	3.9
平年数	10		7		10		10		10	

注) 設置場所はアブラナ科野菜ほ場近辺、比布町、芽室町はアブラナ科野菜以外のほ場近辺、訓子府町は雑草地

予察ほのキャベツにおけるコナガ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	3.9	0.4	1.0
2半旬	2	7.6	2.8	3.6
3半旬	7	11.7	7.6	9.8
4半旬	23	23.6	29.6	13.6
5半旬	69	36.7	68	22.6
6半旬	497	59.3	31	17.9
平年数	10		10	

注) 10株あたりの寄生虫数。

J. りんご

1. モニリア病 発生量 少

長沼町（無防除）及び余市町（慣行防除）の予察園では、モニリア病の発生は認められなかった。一般園における巡回調査の報告によると本病の発生は認められていない。

予察園（長沼町）におけるモニリア病の発生状況

品種名	昂林			
	実腐花葉叢率(%)		株腐花葉叢率(%)	
	本年	平年	本年	平年
落花10日後	0	0		
落花20日後			0	0

平年値は10年の平均値

予察園（余市町）におけるモニリア病の発生状況

地点	品種名	調査時期	葉腐花葉叢率(%)	
			本年	平年
余市町	昂林	6月1週目	0	-
		6月2週目	0	-
		6月3週目	0	-

注1) 余市町の予察園は慣行防除

注2) 調査品種変更に伴い平年値なし

2. 黒星病 発生期 早 発生量 並

長沼町の予察園（無防除）における初発期は、「昂林」及び「ふじ」のいずれの品種でも平年より早かった。余市町の予察園（慣行防除）では発生を認めていない。

発生量は、長沼町の予察園ではいずれの品種とも平年より多かった。

一般園における巡回調査の報告では発生が認められていない。

予察園(長沼町)における黒星病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	昂林	5月22日	6月8日	10
	ふじ	5月22日	5月29日	5
余市町	昂林	未発生	-	-

予察園(長沼町)における黒星病の発生状況

地点	品種名	病葉率(%)											
		6月1半旬		6月2半旬		6月3半旬		6月4半旬		6月5半旬		6月6半旬	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
長沼町	昂林	14.5	3.9	28.4	7.1	60.1	11.3	71.4	15.9	84.8	19.0	94.3	25.1
	ふじ	12.1	5.7	22.4	11.5	41.9	14.0	55.8	20.9	65.3	29.8	83.8	35.0

予察園(余市町)における黒星病の発生状況

地点	品種名	病葉率(%)									
		6月1週目		6月2週目		6月3週目		6月4週目		6月5週目	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
余市町	昂林	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-

注1)余市町の予察園は慣行防除

注2)調査品種変更に伴い平年値なし

一般園における黒星病の巡回調査結果

普及センター		調査地点数	病葉率(%)			
			6月3半旬		6月6半旬	
			本年	前年	本年	前年
後志	北後志	2	0	0	0	0
胆振	本所	1	0	0	0	0
渡島	本所	1	0	0	0	0
留萌	南留萌	1	0	0	0	0

3. 斑点落葉病 発生期 早 発生量 やや多

長沼町の予察園（無防除）の「王林」における初発期は、平年より早かった。発生量は平年よりやや多かった。余市町の予察園（慣行防除）の「昂林」では発生を認めていない。

予察園(長沼町)における斑点落葉病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	王林	6月13日	6月26日	10

予察園(長沼町)における斑点落葉病の発生状況

地点	品種名	新梢病葉率(%)						平年数
		6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	王林	0	0	0	0.51	1.36	0.66	10

4. ハマキムシ類 発生期 やや遅 発生量 並

予察園のフェロモントラップによるリンゴコカクモンハマキの初誘殺日は、余市町B（慣行防除）で平年よりやや早く、長沼町（無防除）及び余市町A（慣行防除）では平年よりやや遅かった。

予察園のフェロモントラップによる誘殺数は、余市町Bで平年よりやや多く、余市町Aで平年並、長沼町では平年より少なかった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、岩見沢市、札幌市、壮警町、七飯町及び増毛町で平年並、石狩市では平年よりやや少なかった。

予察園におけるリンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.0	0	0
2半旬	0	1.4	0	0.2	0	0.2
3半旬	0	5.1	0.6	0.6	0.6	0.8
4半旬	5	17.6	2.9	1.5	2.9	0.7
5半旬	6	16.3	1.7	1.5	3.4	1.2
6半旬	0	14.1	1.1	0.9	2.1	0.9
初誘殺日	6月20日	6月15日	6月21日	6月18日	6月21日	6月24日
平年数	10		10		10	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるリンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	岩見沢市		札幌市		石狩市		壮警町		七飯町		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.0	0	0	-	0	0	0.1	0	0
2半旬	0.3	0.3	0.3	0.4	0	0.1	0	0	0	0.0	0.2	0.3
3半旬	0.7	1.3	0.7	2.2	1	0.2	0	0.5	0	0.2	1.2	1.4
4半旬	4.3	3.1	8.3	5.0	0	0.5	0	1.1	2.7	2.8	2.2	1.8
5半旬	2.5	3.8	5.5	6.7	0	1.1	2.0	1.9	1.8	2.5	2.4	1.7
6半旬	1.3	2.7	3.3	6.2	0	2.5	1.0	1.3	1.4	2.9	0	2.7
平年数	10		10		10		10		10		10	

5. モモシンクイガ 発生期 やや遅 発生量 やや多

予察園のフェロモントラップによる初誘殺日は、余市町A及び余市町B（ともに慣行防除）で平年並、長沼町（無防除）では平年より遅かった。

予察園のフェロモントラップによる誘殺数は長沼町で平年よりやや多く、余市町A及びBでは平年並であった。

長沼町における産卵初発期は7月5日（平年：7月1日）と平年よりやや遅かった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、岩見沢市及び札幌市で平年よりやや多く、壮警町及び七飯町では平年並であった。

予察園におけるモモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.1	0	0.1
2半旬	0	0.1	0	0.3	0.5	0.4
3半旬	0	1.9	0.1	1.2	1.8	1.5
4半旬	0	4.4	0.7	3.4	6.4	5.6
5半旬	5	8.0	1.3	5.0	10.4	7.4
6半旬	39	14.3	7.7	6.8	18.6	12.9
初誘殺日	6月22日	6月16日	6月14日	6月16日	6月14日	6月12日
平年数	10		10		10	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるモモシクイガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	岩見沢市		札幌市		壮瞥町		七飯町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.0	-	0	0	0
2半旬	0	0	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3半旬	0	0.0	0	0.2	0.1	0.4	0	0.2
4半旬	0.7	0.3	4.9	0.7	0.7	0.7	0	0.1
5半旬	2.2	0.8	8.2	2.5	3.5	1.6	0.9	0.3
6半旬	3.1	1.2	15.6	7.8	1.7	3.4	1.9	0.8
平年数	10		10		10		10	

6. ハダニ類 発生量 やや少

リンゴハダニ及びナミハダニの発生は、長沼町（無防除）、余市町A及びB（ともに慣行防除）のいずれの地点においても認められなかった。

予察園におけるハダニ類成虫の発生状況

月・半旬	リンゴハダニ						ナミハダニ					
	長沼町		余市町A		余市町B		長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.5	-	0	-	0.3	0	0	-	0	-	0
2半旬	0	0.7	0	0	0	0.2	0	0	0	0	0	0
3半旬	0	0.1	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0
4半旬	0	0.1	-	0	-	0.1	0	0.2	-	0	-	3.4
5半旬	0	0.5	0	0	0	0.8	0	0	0	0	0	2.7
6半旬	0	0.3	-	0	-	0	0	0.2	-	0	-	1.5
平年数	10		10		10		10		10		10	

注) 30葉あたりの寄生数。余市町A、Bの予察園は慣行防除。

7. キンモンホソガ 発生量 やや少

予察園におけるフェロモントラップ誘殺数は、余市町A及び余市町B（ともに慣行防除）で平年並であった。長沼町（無防除）では誘殺を認めていない。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、岩見沢市及び増毛町で平年よりやや多く、石狩市、壮瞥町及び七飯町では平年より少なかった。札幌市では誘殺が認められていない。

予察園におけるキンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.6	0	0.3	0	0.4
2半旬	0	0.3	0	0.3	0	0.5
3半旬	0	0.3	0.3	1.6	3	1.3
4半旬	0	0.7	1.4	5.7	15	14.0
5半旬	0	3.8	8.3	10.3	14.4	24.9
6半旬	0	3.3	17.1	21.0	27.1	30.0
平年数	10		10		10	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるキンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	岩見沢市		札幌市		石狩市		壮瞥町		七飯町		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.5	0	0.1	0	0.1	0	0.2	0	3.0	8	0.7
2半旬	0.3	0.3	0	0.3	0	0.1	0	0.1	0	0.8	0	0.2
3半旬	0.7	0.0	0	0.4	0	0	0	0.6	0	0.2	0	0.1
4半旬	1.4	0.2	0	0.6	0	0	2	3.3	2	1.8	2.8	5.3
5半旬	5.4	2.4	0	0.7	0	4.6	1.4	21.5	1.4	3.6	43.6	52.8
6半旬	8.1	4.8	0	0.5	1	7.9	1.4	32.5	1.4	17.6	200	70.8
平年数	10		10		8		10		10		10	

令和4年

6月1日～8月31日は**農薬危害防止運動実施期間**です！

北海道では、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬を使用する機会が増える6月から8月を期間として、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理等を推進する「**農薬危害防止運動**」を実施します。

北海道
令和4年6月1日～8月31日

★ 農薬情報の掲載サイト

農薬の登録情報や農薬取締法などについては、農林水産省ホームページの「農薬コーナー」をご覧ください。

URL <https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>

北海道農政部生産振興局技術普及課
(TEL 011-231-4111 (内線)27-838)
北海道病害虫防除所
(TEL 0123-89-2080)
各総合振興局・振興局農務課